がんばろう南房総

南房総の風

[発行]
南房総教育事務所
令和７年１１月２１日
第１６号
文責　保健体育班

「オリンピック・パラリンピック教育」を推進しましょう!
～共生社会の実現を目指して～

現在の学習指導要領解説にはオリンピック・パラリンピック教育（以後オリパラ教育）について、小学校では「児童の発達段階に応じて、ルールやマナーを遵守することの大切さをはじめ、スポーツの意義や価値等に触れることができるよう指導等の在り方について改善を図る」とし、中学校では「スポーツの意義や価値等の理解につながるよう、内容等について改善を図る。特に東京オリンピック・パラリンピック競技大会がもたらす成果を次世代に引き継いでいく観点から知識に関する領域において、オリンピック・パラリンピックの意義や価値等の内容等について改善を図る」としています。

『ルールやマナーを遵守すること』や『フェアプレイを大切にすること』については、小中学校ともに、日頃の体育の授業において、単元の目標「学びに向かう力、人間性等」から作成された評価規準の中に（例）「順番やきまりを守り運動している」「マナーを守ったり相手の健闘を認めたりしてフェアなプレイを守ろうとしている」**（公正）**を設定し、指導します。（協力・責任・参画・**共生**）等とあわせて、児童生徒の資質・能力の育成を図るため、今後も継続して指導してください。

＜小学校　体育＞
（２）体育科改訂の要点
ウ　内容及び内容の取扱いの改善（Ｐ.１３）
(ｺ)　オリンピック・パラリンピックに関する指導
オリンピック・パラリンピックに関する指導については、各運動領域の内容との関連を図り、**ルールやマナーを遵守すること**や、**フェアプレイを大切にすること**など、児童の発達段階に応じて、運動を通してスポーツの意義や価値等に触れることができるようにすることを、新たに「指導計画の作成と内容の取扱い」に示した。

＜中学校　保健体育＞
③改善の具体的事項（Ｐ.７～８）
ア　・スポーツの意義や価値等の理解につながるよう、内容について改善を図る。特にオリンピック・パラリンピック競技大会がもたらす成果を次世代に引き継いでいく観点から、**知識**に関する領域において、オリンピック・パラリンピックの意義や価値等の内容について改善を図る。
○各運動領域（器械運動・陸上競技・水泳・球技・武道（柔道））の**『成り立ち』**について…オリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した（行われている）成り立ちがあることを理解できるようにする。（＊運動分野により表現が異なる）
Ｈ体育理論【第３学年】
ア　**知識**　文化としてのスポーツの意義について理解すること
(ｲ)　オリンピックやパラリンピック及び国際大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。

中学校においては各運動領域の『知識』として「成り立ち」を理解したり、第３学年の体育理論『知識』として「文化としてのスポーツの意義」の中で学習したりします。体育の授業において、単元の目標「知識及び技能」から作成された評価規準の中に「知識」として（例）「学校で行う球技は近代になって開発され、今日ではオリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている」というように設定し、知識の習得につなげてください。

また、今回の学習指導要領から**「共生」**の視点が新たに示されました。体力や技能の程度、性別や障害の有無にかかわらず仲間とともに学ぶ体験は、豊かなスポーツライフや**共生社会**の実現につながる重要な学習の機会であると示されています。小学校学習指導要領解説には、運動（遊び）が苦手な児童への配慮の例等も示されています。中学校でも**原則として男女共習**で学習を行うことが求められています。
体力や技能の高低を個による違いと考え「何ができるか」「どのように工夫したらできるか」という視点で、意義の理解や雰囲気づくり、グループ編成の配慮等をすすめ、クラス単位で学習してきている小学校から中学校への接続時等を活用して実施につなげてください。



オリンピックやパラリンピックに関係した授業だけがオリパラ教育なのではなく、日頃の体育授業や日常生活の中に、オリパラ教育の価値は活かされています。

これからの「心のバリアフリー教育」について（令和７年度から）

千葉県では令和４年度から６年度まで、オリンピック・パラリンピックを活用した教育の成果を無形のレガシーとして受け継ぎ、**共生社会**の形成を目指して学校と地域等が連携・協働し障害のある人や高齢者等を含めた他者の理解を深めるとともに、パラスポーツなどを通じて、相互に支え合い、認め合える心を育てる教育として「心のバリアフリー教育」を推進してきました。今後は、道徳映像教材の活用や特別支援学校でのパラスポーツ用具貸し出し等の取組を行うことで、心のバリアフリー教育を継続するとともに、共生社会の形成に向け他者を理解しようとする気持ちを引き続き育んでいきます。



【取組例】

○道徳映像教材・心のバリアフリー「知らなかった景色（中学校）」(県教委作成：Ｒ元)

○パラスポーツ用教具の貸し出し（各特別支援学校）　※パラスポーツガイド→

○その他　・特別支援学校との交流学習

・パラスポーツ体験…各種運動領域や体育理論の学習後に体験として行う、総合的な学習　等

・「I'm POSSIBLE」の活用　(国際パラリンピック委員会公認教材：全校に配付済み)

＜ＪＯＣオリンピック教室（対象：中学２年生）＞　市原市立有秋中学校

令和７年１０月２９日（水）３０日（木）の２日間、ＪＯＣオリンピック教室を実施しました。

１日目は湯田葉月さん（ホッケー）、２日目は酒井友之さん（サッカー）が講師を務めました。

オリンピアンが教師役となり、オリンピアン自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピアンだけのものではなく、多くの人が共有し日常生活にも活かすことのできるものであることを授業を通して学習してもらうため、ＪＯＣが主催している教室です。

(詳細は「ＪＯＣオリンピック教室」で検索)





＜オリパラ、アスリート等派遣に関する事業の紹介 令和７年度予定＞



○競技団体と連携した普及事業（フェンシング教室）

君津市立八重原小学校　**（Ｒ８．１．２１予定）**

○パラアスリート等学校訪問事業（車いすバスケ・車いすラグビー・シッティングバレー・ボッチャ等）

南房総市立嶺南中学校（ブラインドサッカー）**（Ｒ７．１２．８予定）**

富津市立大佐和中学校（車いすバスケ）**（Ｒ８．２．１９予定）**





○「ちば夢チャレンジかなえ隊」派遣事業

富津市立大貫小学校　（千葉ジェッツ）**（Ｒ７．１２．１６予定）**

木更津市立高柳小学校（千葉ジェッツ）**（Ｒ８．１．２０予定）**

木更津市立清見台小学校（千葉ロッテマリーンズ）**（Ｒ８．２．４予定）**

年度初めに募集があります。
ぜひ応募してみてください!!

「東京２０２５デフリンピック」を応援しよう！

令和７年１１月１５日（土）～２６日（水）までの１２日間、東京デフリンピックが開催されています。デフリンピックとはデフ（Deaf…耳が聞こえない)＋オリンピックのことで、４年毎に開催されるデフアスリート（耳が聞こえない、聞こえにくい人）を対象とした国際総合スポーツ競技大会です。日本で初めての開催であり１００周年の記念となる大会になります。２１競技が行われ、「目」でわかる様々な工夫（視覚的情報保障）がされています。

TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

【大会ビジョン】１　デフスポーツの魅力や価値を伝え、人々や社会とつなぐ
２　世界へ、そして未来につながる大会へ
３　“誰もが個性を活かし力を発揮できる”共生社会の実現

サインエールで
応援しよう！